

民俗建築アーカイブ

昭和 27 年の岡山県苫田郡富村 その二 人々の住まい

日本民俗建築学会アーカイブ担当

岡山県苫田郡鏡野町富西谷に国指定重文の「旧森江家」が移築保存されている。これは昭和 27 年に、前会長の佐藤重夫氏が旧富村を調査し、森江家の歴史的価値を見出して、公開保存に至ったものである。佐藤氏は森江家ほか多数の民家の構造や復元を考察して、当時の日本建築学会中国支部に発表した。139 枚に及ぶ当時の写真は公開されていない。それを前号の“民俗建築アーカイブ”から掲載している。

今回はその続きとして、旧富村の写真 35 枚を紹介する。前回は富村大字大の集落で、ここは 144 号 p86 の図 1 に示すように上、中、下の三地域に分かれている。今回はこの他に旧村名が残る東谷、中谷、西谷、楠地区の民家や神社、分校、農協の建物、主要家屋の間取りを紹介する。なお、写真のキャプションで大上、大中、大下は大部落上、大部落中、大部落下の意味である。